

# 指

三年 画数 9  
筆順 一 才 扌 指  
オン シ  
フン ゆび・さし指

成り立ち



口の中にたべものが入っている形をあらわした「日」と、人の形をあらわした「匕」とを組み合わせて、「うまい」といういみをあらわしたのが「旨」です。

「旨いもの」があると、だれでも「ゆび」でちよいとつまみたくくなりますね。それで、手の形をあらわした「扌」と、この「旨」とで「指(ゆび)」という字を作りました。

また、指は、人を「ゆびさす」ときにもつかいますので、「さす」といういみにもつかいます。

使い方

▽人の指示や指令でうまく行ったのよりも、うまく行かなくても、自分で指針を立ててやった方がまんぞくが行きます。

熟語例

▽わたしは指名をうけて、指定された席にすわりました。

▽指示(「指さし示す」といういみで、「よくわかるようにめいれいする」ことをいいます。指図)ともいいます。)

▽指令(口でする命令にたいして、「文書でする命令」のいみにつかわれることが多いようです。)

▽指針(磁石などの「目もりを指示する針」のことですが、人生の「方針」のいみにつかわれます。)

▽方針(方がくを指示する磁石の針のことで、これによって目ひようがさだまりますので、人生の「目ひよう」や「生き方」などのいみにつかわれます。)

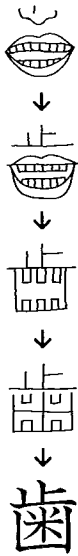
▽指名(名前を指定すること。)

▽指定(「これ」といって「指さし定める」こと。人やもの、時やところなどについて、とくに「これ」と定めることをいいます。)

# 齒

三年 画数 12  
筆順 一 ト 止 止 業 齒  
オン シ  
フン は

成り立ち



ひらいた口の中に「は」が見える形をあらわした「囙」に、このことばの音をあらわした「止(2年146)」をくわえて作った字です。「は」をあらわした字です。

「止」は、「シ」という音をあらわすだけで、いみにはまったくかんけいありません。いみは「囙」があらわし、「止」が音をあらわすという、このような作り方の文字を「形声字」といいます。「形」はいみを、「声」は音をいみすることばです。

〔漢字の九十パーセント以上が形声字という構造の文字である。この仕組みを知ることが漢字学習の基本なので典型的な「齒」という形声字で、この仕組みを理解させたいものである。〕

使い方

▽むかしは、朝おきた時と夜ねる前、歯をみがくとよいといわれていましたが、今では、まい食後、歯をみがく方が、虫歯をよぼうするのによいといわれています。

▽おにいさんが、「このもんだいは、むずかしくて歯が立たない」といったので、わたしは、もんだいを食べるのかとおもって、びっくりしました。そしたら、おにいさんは、「むずかしすぎて、できないことを、歯が立たないっていうんだよ」といいました。

熟語例

▽乳歯(子どもの時に生えて、少し大きくなった時にぬけて生えかわる歯。かわりに生えてくる歯を「永久歯」といいます。)

▽義歯(本ものでない歯、といういみで、「入れ歯」のことです。「うちのおじいちゃんは、義歯をしています」などというふうに、つかいます。)

▽歯牙(歯と牙、といういみですが、ただ「歯」のいみにもつかわれます。「歯牙にかけない」といえば、「気にしない。もんだいにしない」といういみになります。)